

政務活動費 (会 派 名) 出張報告書

平成 年 月 日

氏名 関谷 博	用務 第29回議員の学校
期間 平成29年8月8日から 平成29年8月9日まで	出張先 国立市

○ 調査事項・意見

1. 地球・住民生活の現実と直面する政策課題
 - a. 地方再生とベーシックインカム (日本経済の代替政策を考える)
 工賃金と社会保障と家賃労働は、これら軽減されたが、ケアケアと被解
 IV 地方経済の現状 V 地方経済の再生 VI ベーシックインカム
 2. 地域医療圏構想と医療・介護・国保の「改革」を向う
 - a. 高齢者の生活実態は厳しい状況が続いている。
 - b. 病床機能の再編成する地域医療構想がすべての都道府県で策定された。病床の機能別再編による消滅は約15万床。その受け皿が地域を越え欠乏
 - c. 同題たろりの「地域を越え欠乏」強化のための介護保険法の一部改正
 - d. 国保の都道府県単位の保険原理の強化。社会保障原理と地方自治の空洞化を招く恐れが大きい。
 - e. 本年度は第1期介護保険事業計画の策定年度
 - f. それぞれの地域でどのように真の意味での「地域を越え欠乏」と「地方自治」を確立するが課題が山積している。
3. 空き屋問題の現状がら
 - a. 一軒は3軒に1軒の空き屋 以て空き屋活用を推進する要因 (立地・建物・用途・用途)
 - c. 空き屋活用の3つのキーワード (収益・公益・社会) d. 大都市・地方都市一等地
 - e. 立地に難ありの都市部・一部農村 未だ空き屋を発生させないために
4. 公共施設計画と地域政策の立て方 (抜則保障の原則に立つ自治体政策の方法) a. 人口減少などの理由で進められている公共施設の再配置
 b. 学校統合廃合も集会施設の減少、保育園・幼稚園の統合、学童保育の大規模化 c. 図書館や公民館の民間委託 d. その一方で地元内自ら声がかかる保育園や高齢者施設の不足